

今日のキーワード 「北海道新幹線」の経済効果（日本）

「北海道新幹線」が3月26日に開業しました。新青森と新函館北斗の間の149キロの区間です。1964年の東海道新幹線の開業から半世紀以上を経て、新幹線が青函トンネルを渡り北海道にお目見えしました。これで北海道から鹿児島まで日本列島を縦断するネットワークが完成しました。2031年の春には、北海道民の待望する札幌までの開業が予定されています。

ポイント1

函館まで開業、札幌には2031年春の開業を予定

東京駅から最速で4時間2分、運賃の競争力はある

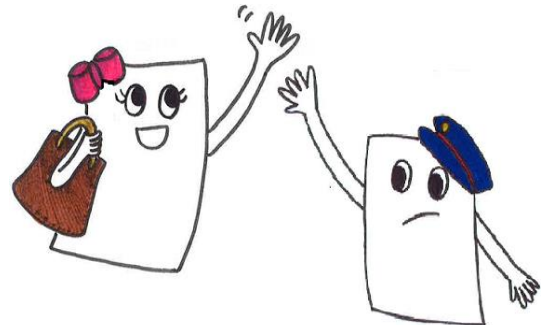
- 3月26日に、北海道新幹線が開業しました。運転本数は1日13往復のうち10往復が東京からの直通列車です。所要時間は最速の列車で4時間2分（平均は4時間22分程度）、料金は2万2,690円となっています。ちなみに正規の航空運賃は会社によって異なりますが3万5,000円程度（所要時間は1時間20分程度）ですので、新幹線の価格競争力はあると思われます。
- 新幹線はさらに、新函館北斗から札幌までの延伸工事が進められており、2031年春には同区間の営業運転が開始される見通しで、これにより東京から札幌までの全線が開通することになります。

ポイント2

波及効果は136億円との試算

函館は観光資源の宝庫

- 新幹線の経済効果については、日本政策投資銀行が年間136億円の効果が北海道内に寄与するとの試算をしています。観光、ビジネスなどへの直接効果73億円に加え、これらの需要が誘発する波及効果を加えたものです。
- 函館地区は自然はもちろん、食や歴史などの観光資源が豊富な地区ですので、新幹線の開通が地域振興の起爆剤になることが期待されます。課題としては、オフシーズンや平日の観光客の誘致にありそうです。またインバウンド需要の取り込みも重要でしょう。



今後の展開

札幌までの早期延伸が必要

■ 当面は年間48億円の赤字採算想定

北海道新幹線の採算は、残念ながら赤字となりそうです。JR北海道の試算によれば、平均乗車率26%を前提に、当面の年間の赤字額を48億円と想定しています。函館から札幌まで、在来線の特急では3時間半もかかるため、札幌や道央、道北への旅客を航空機から奪うことは難しいと考えられます。

■ 東京-札幌は世界でも有数の航空路線

したがって、今後のポイントは札幌までの延伸に尽きると思われます。羽田および成田から新千歳（札幌）への航空便の旅客数は、年間1,000万人を超えて、世界でもトップクラスの路線です。新幹線が開通すれば、東京から札幌までは約5時間程度と推定され、かなりの旅客数の取り込みが可能となりそうです。

ここもチェック!

2016年 3月28日 「大学生の就職」、好調続く（日本）

2016年 3月18日 「外国人旅行者」、過去2番目の高水準（日本）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。